

第5章 公害の苦情

1. 公害苦情の受理件数

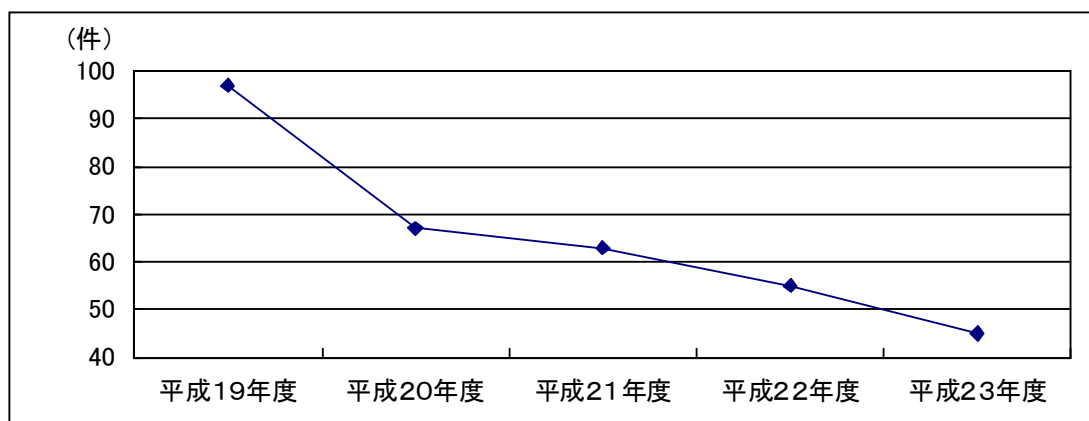
平成23年度に取り扱った苦情件数は45件、そのうち新規直接受理した件数は45件（100%）であり、前年度に比べて10件減少した。

表5－1 受理件数の内訳

年度	合 計	新規直接受理	他からの移送	前年度からの繰越
19	97	97(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
20	67	67(100%)	0(0.0%)	3(4.3%)
21	63	63(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
22	55	55(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)
23	45	(100%)	0(0.0%)	0(0.0%)

図5－1 新規直接受理件数の経年変化

公害苦情新規直接受理件数



	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
件数	97	67	63	55	45

2. 公害の種類別苦情件数

公害の種類別の苦情件数を見ると、焼却行為による大気汚染苦情が多くなっており、次いで水質による苦情となっている。

表 5－2 種類別苦情件数（新規直接受理）

年度 \ 種別	大気	水質	土壌	騒音	振動	地盤	悪臭	その他	合計
平成19年度	33	13	0	16	0	0	21	14	97
	34%	13%	0%	16%	0%	0%	22%	14%	100%
平成20年度	29	15	0	7	1	0	7	8	67
	43%	22%	0%	10%	1%	0%	10%	12%	100%
平成21年度	22	12	1	11	3	0	9	5	63
	35%	19%	2%	17%	5%	0%	14%	8%	100%
平成22年度	25	8	0	4	1	0	12	5	55
	45%	15%	0%	7%	2%	0%	22%	9%	100%
平成23年度	20	11	0	3	3	0	8	0	45
	44%	24%	0%	7%	7%	0%	18%	0%	100%

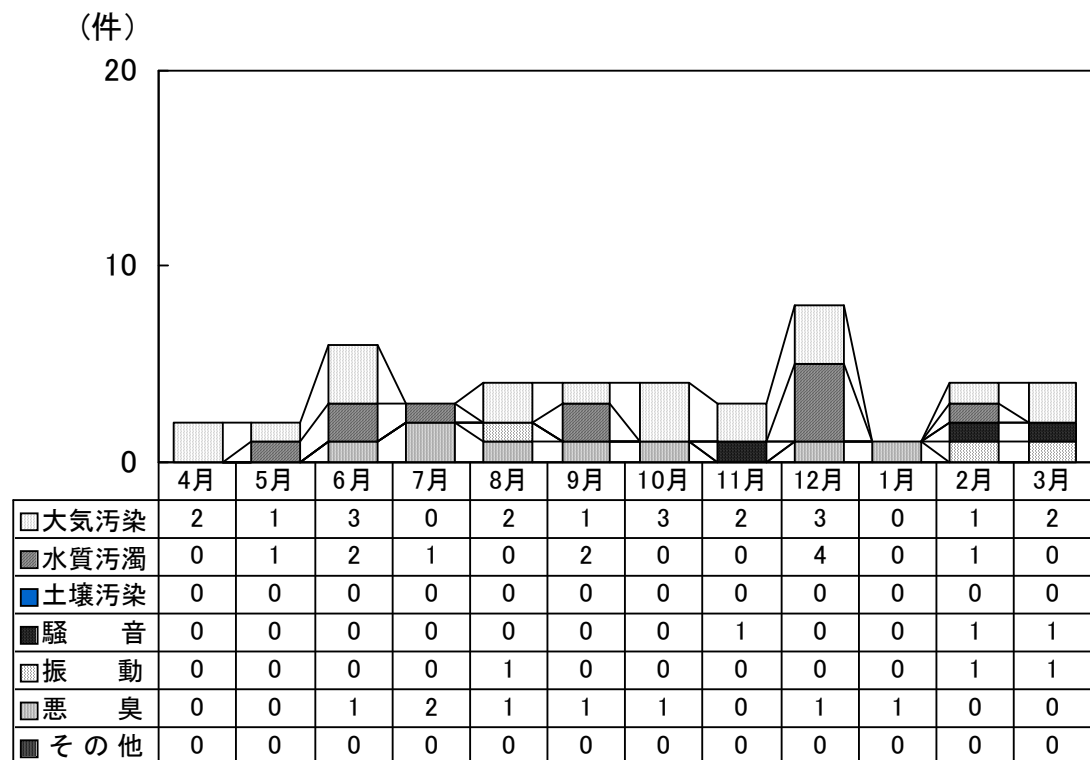
3. 月別苦情受付件数

受理した苦情を月別に見ると、年中通じて苦情が寄せられている。

表 5－3 月別苦情件数

種別 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
大気汚染	2	1	3	0	2	1	3	2	3	0	1	2	20
水質汚濁	0	1	2	1	0	2	0	0	4	0	1	0	11
土壌汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
騒 音	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3
振 動	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	3
悪 臭	0	0	1	2	1	1	1	0	1	1	0	0	8
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	2	2	6	3	4	4	4	3	8	1	4	4	45

図 5－2 月別苦情件数



4. 発生源別苦情件数

新規直接受理件数を発生源別に見ると、平成 23 年度では農業が一番多くなっており、次いで建設業、サービス業、不明となっている。

表 5－4 発生源別苦情件数

年 度	平成19年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率	件数	比率
農業	2	2.4 %	7	6.7 %	14	14.4 %	7	10.4 %	10	14.9 %
建設業	13	15.9 %	12	11.4 %	10	10.3 %	6	9.0 %	6	9.0 %
製造業	7	8.5 %	1	1.0 %	3	3.1 %	9	13.4 %	4	6.0 %
電気・ガス・熱供給・水道業	1	1.2 %	1	1.0 %	1	1.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
運輸業	2	2.4 %	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %	0	0.0 %
卸売・小売業	8	9.8 %	2	1.9 %	3	3.1 %	0	0.0 %	2	3.0 %
飲食店・宿泊業	5	6.1 %	3	2.9 %	2	2.1 %	0	0.0 %	3	4.5 %
医療・福祉	1	1.2 %	0	0.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %	0	0.0 %
サービス業	4	4.9 %	4	3.8 %	8	8.2 %	8	11.9 %	6	9.0 %
公務	0	0.0 %	0	0.0 %	2	2.1 %	0	0.0 %	0	0.0 %
家庭生活	21	25.6 %	14	13.3 %	3	3.1 %	11	16.4 %	4	6.0 %
事務所	0	0.0 %	1	1.0 %	1	1.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %
道路	1	1.2 %	0	0.0 %	1	1.0 %	0	0.0 %	1	1.5 %
空地	1	1.2 %	2	1.9 %	0	0.0 %	0	0.0 %	0	0.0 %
その他	9	11.0 %	6	5.7 %	6	6.2 %	4	6.0 %	2	3.0 %
不明	22	26.8 %	14	13.3 %	9	9.3 %	8	11.9 %	6	9.0 %
合計	97	100 %	67	100 %	63	100 %	55	100 %	45	100 %

5. 地域別苦情発生件数

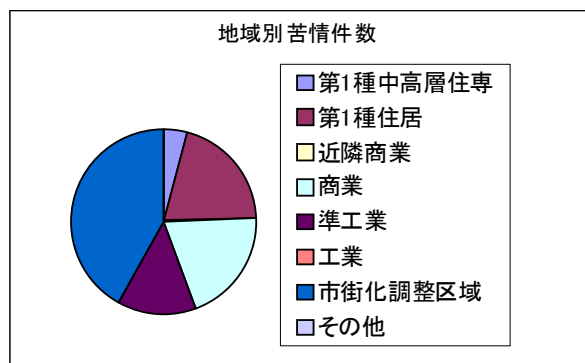
平成 23 年度新規受理した苦情の発生場所をみると、市街化調整区域が 19 件（42.2%）と最も多く、次に第 1 種住居、商業の 9 件（20.0%）と続いている。

表 5－5 被害の用途地域別苦情件数

年度	種別	第1種 低層 住専	第1種 中高層 住専	第1種 住居	近隣 商業	商業	準工業	工業	市街化 調整 区域	その他	合計
平成19年度		5	12	25	7	7	12	2	27	0	97
		5.2%	12.4%	25.8%	7.2%	7.2%	12.4%	2.1%	27.8%	0.0%	100%
平成20年度		8	6	15	3	2	8	1	24	0	67
		11.9%	9.0%	22.4%	4.5%	3.0%	11.9%	1.5%	35.8%	0.0%	100%
平成21年度		3	5	20	1	8	5	1	20	0	63
		4.8%	7.9%	31.7%	1.6%	12.7%	7.9%	1.6%	31.7%	0.0%	100%
平成22年度		6	10	15	1	1	4	0	18	0	55
		10.9%	18.2%	27.3%	1.8%	1.8%	7.3%	0.0%	32.7%	0.0%	100%
平成23年度		0	2	9	0	9	6	0	19	0	45
		0.0%	4.4%	20.0%	0.0%	20.0%	13.3%	0.0%	42.2%	0.0%	100%

図 5－3 地域別苦情件数

	件数	%
第1種低層住専	0	0.0%
第1種中高層住専	2	4.4%
第1種住居	9	20.0%
近隣商業	0	0.0%
商業	9	20.0%
準工業	6	13.3%
工業	0	0.0%
市街化調整区域	19	42.2%
その他	0	0.0%
合計	45	100%



6. 被害の種類別苦情件数

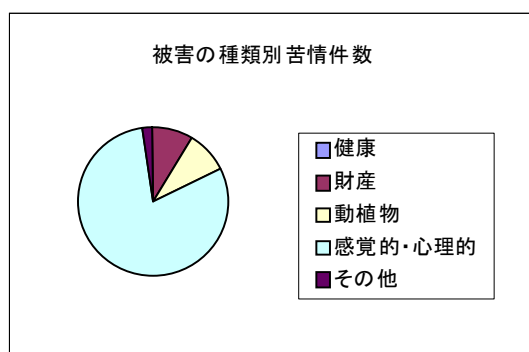
平成 23 年度に新規直接受理した苦情を被害の種類別に見ると、感覚的・心理的な被害（うるさい・臭い・不快などで心身の健康を害するに至らないもの）が 36 件(80.0%)で最も多く、次に財産・動植物に関する被害が 4 件(8.9%)と続いている。

表 5－6 被害の種類別苦情件数

年度 \ 種別	健康	財産	動植物	感覚的・心理的	その他	合計
平成 19 年度	3	6	5	83	0	97
	3.1%	6.2%	5.2%	85.6%	0.0%	100%
平成 20 年度	3	0	6	58	0	67
	4.5%	0.0%	9.0%	86.6%	0.0%	100%
平成 21 年度	0	1	2	58	2	63
	0.0%	1.6%	3.2%	92.1%	3.2%	100%
平成 22 年度	1	3	1	50	0	55
	1.8%	5.5%	1.8%	90.9%	0.0%	100%
平成 23 年度	0	4	4	36	1	45
	0.0%	8.9%	8.9%	80.0%	2.2%	100%

図 5－4 被害の種類別苦情件数

	件数	%
健康	0	0.0%
財産	4	8.9%
動植物	4	8.9%
感覚的・心理的	36	80.0%
その他	1	2.2%
合計	45	100%



7. 公害苦情の処理状況

平成 23 年度で取り扱った苦情件数は 45 件であり、次年度への繰越は 0 件であった。

表 5－7 受理・処理件数

種 別 年 度	苦情件数 (繰越等含む)	解 決	移 送			その他	繰 越
			国 等 の 機 関 へ	警 察	小 計		
平成19年度	97	94	0	0	0	0	3
	100%	97%	0%	0%	0%	0%	3%
平成20年度	67	67	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成21年度	63	63	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成22年度	55	55	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%
平成23年度	45	45	0	0	0	0	0
	100%	100%	0%	0%	0%	0%	0%